

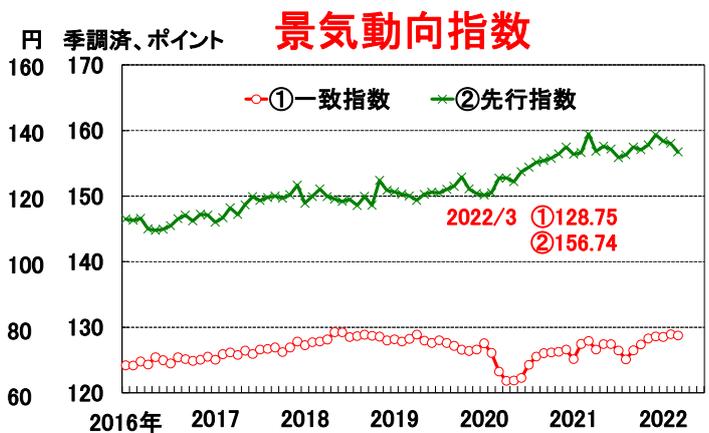
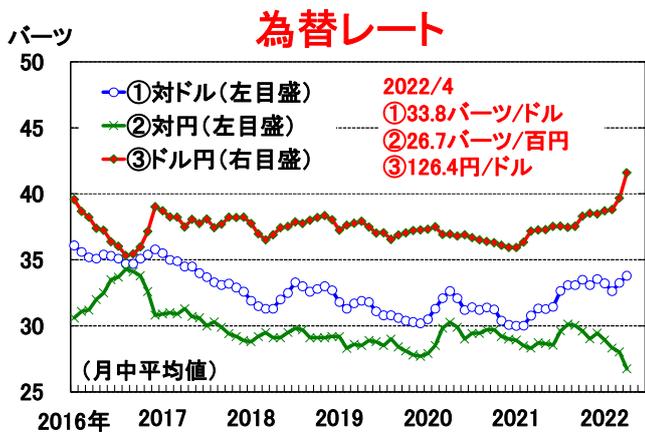
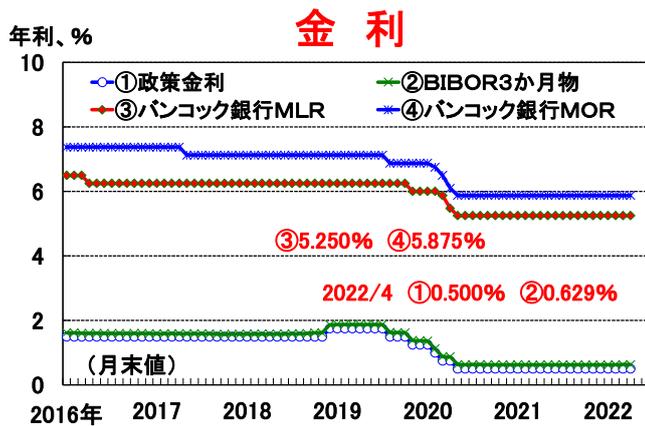
グラフで見るタイ経済 2022年5月号(No. 155)

タイの景気は一部で鈍い動きがみられる。3月の個人消費指数は136.1(前月は137.4)と、高水準を保ちながら3か月連続で下落した。エネルギー価格の急騰などが個人消費の回復を阻んでいる。同月の民間投資指数も前月比-0.4%(前月は同-0.5%)と建設資材の値上げなどにより頭打ち感が強まった。こうした中、同月の工業生産指数は97.5(前月は98.2)と低調な動きが続いた。ただ、3月の輸出は前年比+19.5%と前月(同+16.2%)に比べて増勢をいったん拡大し、また4月の製造業PMIも51.9と底堅く推移している。

【足元の景気判断】

指標	景気全般	輸出	民間投資	個人消費	鉱工業生産	製造業PMI
判断結果	→	→	→	→	↓	→

(注) 矢印は概ね3か月前との比較。青の矢印は改善を、赤の矢印は悪化を、白の矢印は横ばいを表している。

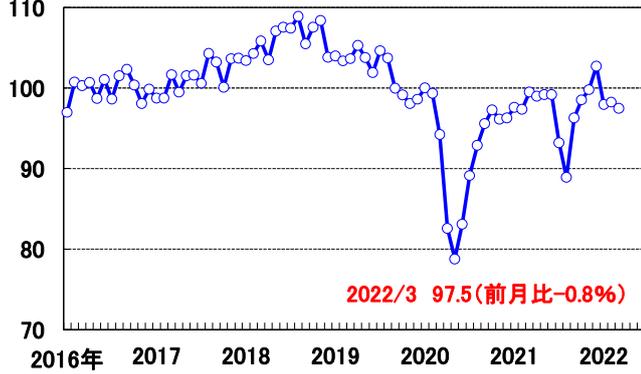


(出所) タイ中央銀行、タイ国家経済社会開発委員会 (NESDB)、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

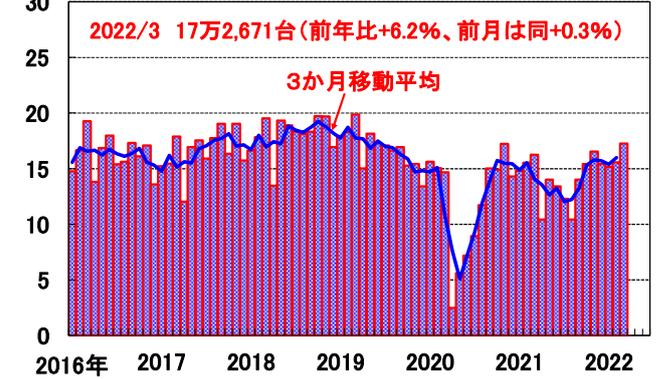
季調済
2016年=100

工業生産指数



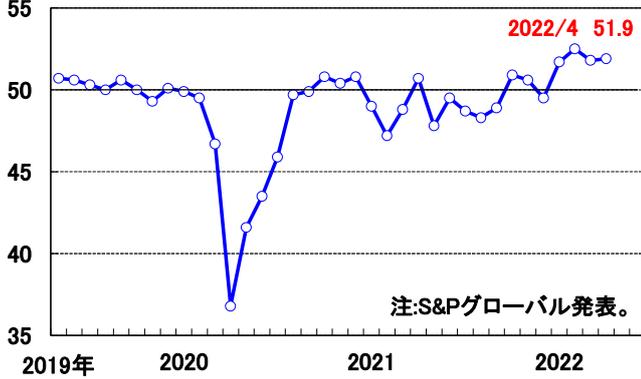
万台

自動車生産台数



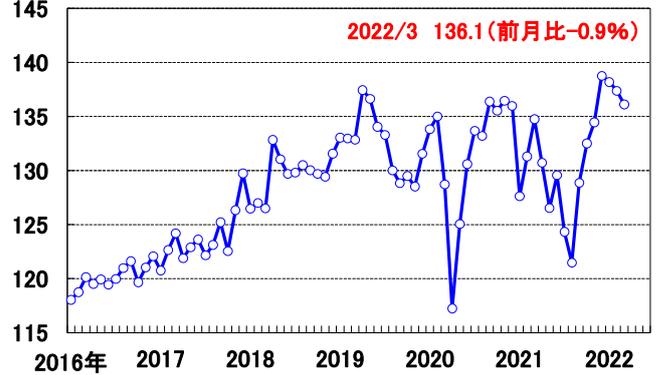
季調済
中立水準=50

製造業PMI



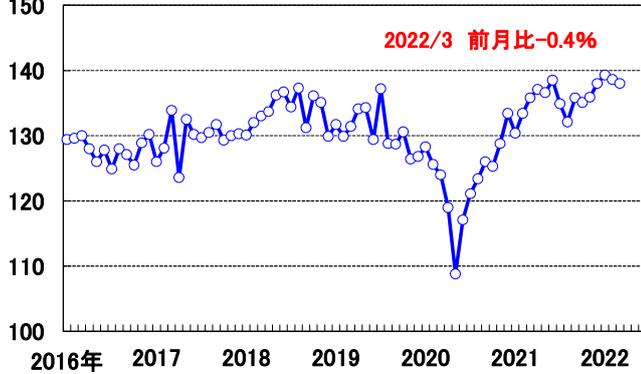
季調済
2010年=100

個人消費指数



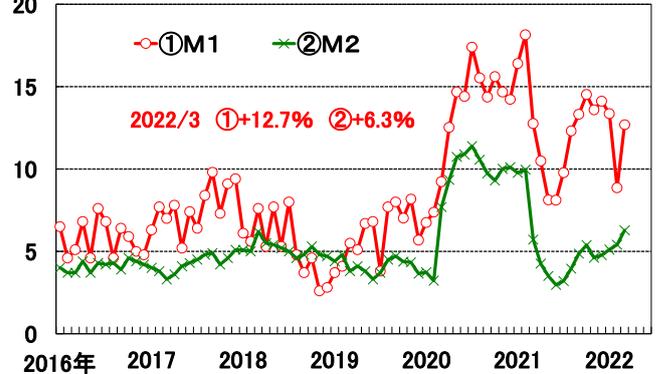
季調済
2010年=100

民間投資指数



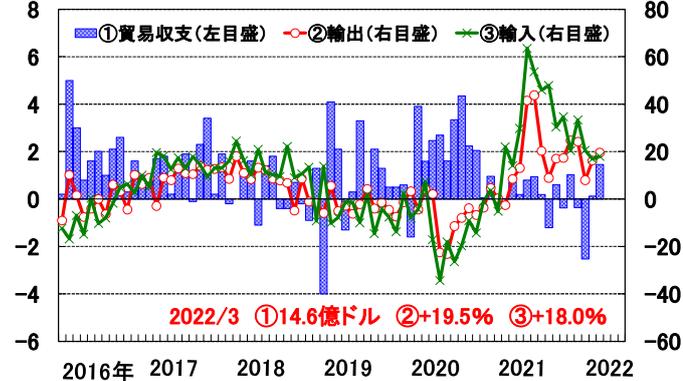
前年比、%

マネーサプライ



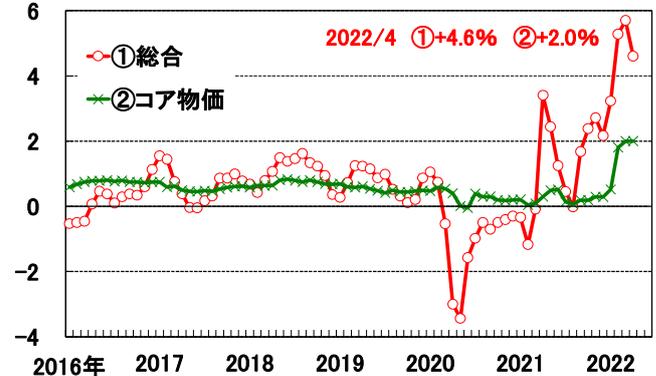
10億ドル

貿易収支



前年比、%

消費者物価指数



(出所) タイ工業省、タイ中央銀行、タイ国家統計局、タイ工業連盟 (F T I)

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。